

令和 7 年度 第 2 回能勢町地域公共交通会議 議事録

開 催 日 時	令和 7 年 11 月 17 日（月） 午前 10 時 00 分～10 時 58 分
開 催 場 所	能勢町役場西館 3 階会議室
出 席 委 員 (19 名中 14 名)	猪井 博登、葉 健人、栗原 岳志、田中 祥敬(野津委員代理)、暮部 光昭、 東 亮一、北 晴美、信田 政子、松本 久恵、遠藤 洋一、井本 昌彦、 藤原 伸祐、寺内 啓二、百々 孝之
欠 席 委 員 (5 名)	田中 郁代、石崎 宏司、今西 大樹、前田 信一、田中 昭雄
傍 聴 者	4 名
議 題	①令和 7 年度事業国庫補助金の交付申請等について(協議事項) ②乗合タクシー及び妙見口のせ号の利用実績について(報告事項) ③その他
議 事 録	<p>■開会</p> <p>■資料確認、公開・傍聴報告</p> <p>会長) ■会長挨拶</p> <p>年末に向けて、公私ともに多忙の中、出席いただき感謝申し上げます。</p> <p>本日の議題は、次第のとおり、協議事項 1 件、報告事項 1 件、その他 2 件である。</p> <p>限られた時間ではあるが、委員におかれては活発な議論となるようお願いする。</p> <p>事務局) ■出席状況の報告</p> <p>本日は、代理出席を含めて 19 名中 14 名の委員にご出席いただいている。</p> <p>会長) ■議長の指名</p> <p>本日の議事進行については、猪井副会長がオンライン参加であるため、設置要綱に基づき、議長は大阪大学の葉委員にお願いしたい。</p> <p>委員) ■議長挨拶</p> <p>本日は、私が議事進行をさせていただく。よろしくお願いします。</p> <p>委員) ■議題</p> <p><u>①令和 7 年度事業国庫補助金の交付申請等について(協議事項)</u></p> <p>※事務局より資料 1 のうち「交付申請の概要について」説明。</p>

委員)	<p>事務局より説明のあった「交付申請の概要」についてご意見やご質問はあるか。</p> <p>(意見、質問なし)</p>
委員)	<p>議題①のうち、交付申請については協議事項としている。</p> <p>今後、交付申請手続きにおいて、調整や修正などがあった場合、事務局において修正させていただく点について、ご異議などはないか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員)	<p>事務局においては交付申請の提出をお願いする。</p> <p>それでは、資料１のうち令和６年度に公共交通に要した費用について事務局より説明をお願いする。</p> <p>※事務局より資料１のうち「令和６年度 本町における公共交通に要した費用について」説明。</p>
委員)	<p>事務局より説明のあった「令和６年度 本町における公共交通に要した費用」についてご意見やご質問はあるか。</p>
委員)	<p>乗合タクシー事業において、新車を一台購入されたとのことだが、そうした費用もこの支出に含まれるのか。</p>
事務局)	<p>委託料の一部に含まれる。</p>
委員)	<p>当初購入した車両が中古であったなどの事情で、新車を購入されたということか。</p>
委員)	<p>車両は受託者で購入しており、乗合タクシーの運行委託料に計上している。したがって、受託者の経費で購入していることから、直接的に町に負担が発生することはない。</p>
委員)	<p>他にご意見やご質問はあるか。</p>
委員)	<p>資料１の右下部の出典について、平成２４年のものであり、かなり時間が経過している。この数値が参考になるのか疑問であるため、来年度も同様の資料を作成される予定であるならば、直近のデータを使用されるか近隣自治体の状況を調べていただき、それを参考にすることがいいと思う。</p>
委員)	<p>運輸局で直近のデータは把握しているか。</p>

委員)	輸送部門としては同様のデータは把握していない。
委員)	ご意見のとおり近隣自治体の状況を調べていただく必要があるかと思うが、事務局いかがか。
事務局)	<p>関係機関にも最新のデータがあるか相談をしたが、同調査が平成 24 年にのみ行われたものであること、これまで本会議の資料でも使用した出典であることから今回も使用したところである。</p> <p>いただいたご意見のとおり、次年度以降は、近隣自治体の状況を調査の上、活用できるよう努めていきたい。</p>
委員)	<p>個人的には 1.0%は、妥当な数値と考えている。ただ、財政負担を抑えるという点は非常に理解できる部分であり、経費を支払って運賃収入を得るという事業形態であるところが、公共交通の難しい部分でもある。買い物や通院など地域での消費につながる手段となることや、自家用車を使わず、公共交通を利用し歩くことで健康増進につながるなど、一定の波及効果が見込まれる。財政負担を抑え過ぎることで波及効果を失う場合もあるため、減らしてはいけない部分を冷静に見極めることも必要と考える。そうした面では近隣自治体との比較など、妥当なラインを探っていくという点が必要かと思われる。他にご意見やご質問はあるか。</p> <p>(意見、質問なし)</p>
委員)	<p>■議題</p> <p><u>②乗合タクシー及び妙見口のせ号の利用状況について(報告事項)</u></p> <p>※事務局より資料 2 について説明。</p>
委員)	事務局より説明のあった「乗合タクシー及び妙見口のせ号の利用状況」についてご意見やご質問はあるか。
委員)	妙見口のせ号において、現金でのご利用が未だこれだけ多いというのは何か理由があるのか。回数券は使用期限もなく、1 枚分お得である。
委員)	事務局いかがか。
事務局)	第 2 便など、昨年度と比して現金利用が増加している便において、利用者の乗降停留所の利用傾向に着目すると、少なくとも定期的な利用のある停留所間での乗車時には回数券が利用されることが多いが、不定期的な利用のある停留所間で

	<p>の乗車時には現金での支払いが多い傾向が見られる。</p>
委員)	<p>回数券には使用期限もなく、ずっと利用しないということでもなければ、手間のかかる現金より、回数券は100円単位の運賃に合わせて利用できることから、私は便利だと思う。1冊当たり3千円若しくは5千円だが、その半分程度の枚数と金額であれば良いのかも知れない。</p>
事務局)	<p>妙見口のせ号の車内では回数券の販売を行っていない。車内で購入できるのであればその場で購入し、使用いただけるような利用が増加することもあり得る。乗合タクシー利用者は車内で購入できるのに対し、妙見口のせ号の利用者は、役場などの窓口に出向く必要がある。この点で、乗合タクシーと妙見口のせ号の利用者に回数券購入・利用の傾向の差が生じているのではないかと考えられる。また、定期的な利用の中でも、短い停留所区間での乗車の際に現金利用が多いという傾向も一定見受けられる。ご意見のとおり、回数券の方がお得であるため、引き続き周知を実施していく。</p>
委員)	<p>回数券を購入するほどではないが、不定期に利用される方が一定数おられるようにも考えられる。定期的な利用や、より頻度の低い利用、急な必要に応じた利用など、様々な形で利用があるという点はポジティブに捉えている。</p>
委員)	<p>家族などで分けて利用することは可能なのか。</p>
事務局)	<p>利用対象者であれば、可能である。</p>
委員)	<p>回数券について、より多くの方に使っていただきたい。また、1冊を使い切れないうちに譲渡するなどすればご利用いただける機会にもなる。</p>
委員)	<p>知人や友人に勧める際などにも有用と思われるため、利用対象者であれば分けて利用できるという情報も周知いただきたい。</p> <p>妙見口のせ号の利用者が増え喜ばしい反面、やはり便によっては利用実績に差がある。特に朝の第1便については地元の強い要望により設定したという経緯がある。しかしながら、実際は毎日1人程度の利用にとどまっている。また、4便、5便も日ごとの利用実績に波がある。仮にダイヤを見直すとすれば、時期や調整については、事務局としてどのような調整と工程が必要となるか。</p>
事務局)	<p>現時点において、直ちに見直しを検討しようという段階ではない。第1便の利用者について利用がなかった時期を調べると、ゴールデンウィークとお盆の時期であった。この利用者においては、通勤での利用と考えられ、6時13分のダイヤをどの程度までずらすことが可能かといったヒアリングなども実施しながら、次年度以降は運行の見直しなどについても検討を進めていきたいと考えて</p>

	いる。
委員)	<p>この第1便の利用者にとっては重要な交通手段となっていると考えられる。第1便と第2便の間の時間帯にもう一便あれば利便性が高まる可能性もあると考えられることから、慎重にヒアリングしながら継続的に検討いただきたい。第4便と第5便についても、利用者に一定の特徴があれば、最適な運行時間の検討につながると思われるので引き続き実態の把握に努めていただきたい。他にご意見やご質問はあるか。</p>
副会長)	<p>運行日当たりの利用者数の目標値25人が厳しい設定である点については、以前から悩ましく思っているところでもある。資料2の利用実績において実利用人数など、他の目標値は複数達成しつつある一方で、利用者数25人という数値目標が厳しい設定であると改めて認識した。交通手段のセーフティネットであるため、目標未達により直ちに運行を見直すというところではないが、厳しい目標であると感じている。</p>
委員)	<p>現状でも予約受付で手一杯な場合もあると事務局に伺っている点を踏まえ、仮に1日当たり25人の乗車が続くとなると予約の受付自体が困難となってしまうことも考えられる。そうした観点でこの目標値については認識いただきたいというご指摘かと思われる。ただ、運行範囲を拡大したことも含め、昨年度より利用実績が増加しているが、区域拡大によって直ちに利用が増えるということではなく、利用が習慣化し、定着することが利用者数増加の一因と考えられるため、利用促進については粛々と続けていく必要がある。</p> <p>他にご意見やご質問はあるか。</p> <p>(意見、質問なし)</p>
委員)	<p>■議題</p> <p><u>③その他(回数券購入申込書の更新・今後のスケジュールについて)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の本会議で意見のあった回数券購入申込書書式の簡素化。 ・次回会議予定：令和8年1月29日(木)午前10時より。 <p>これら2点について事務局より連絡。</p>
委員)	<p>事務局から報告のあった2点についてご質問はあるか。</p>
委員)	<p>新たな回数券申込書の利用開始時期と周知方法についてお聞きしたい。</p>
事務局)	<p>12月1日の予定である。また、町ホームページなどにより周知していきたいと考えている。</p>

委員)	回数券については、利用対象者であればシェアできるといった点も併せて周知 いただきたい。委員の皆様から他にご意見やご質問あるか。
委員)	回数券を利用対象者に分けて使用いただくことについて、そのような利用が進 むことで利用者の増加が期待できるものである点から、より利用者数が増える ことでこの交通モードの持続性が高まるものとする。この点について周知を 行っていただき、利用者増加を更に加速できるように取り組んでもらいたい。
会長)	<p>■閉会</p> <p>慎重審議いただき、御礼申し上げます。引き続き、この会議で改善に向けた議論 をお願いします。本日の能勢町地域公共交通会議は、これをもって終了する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>